

ナゲットプロファイラー 操作手順書 作業者編

作成: 2014年01月10日
更新: 2024年02月07日

ナビモードによる検査



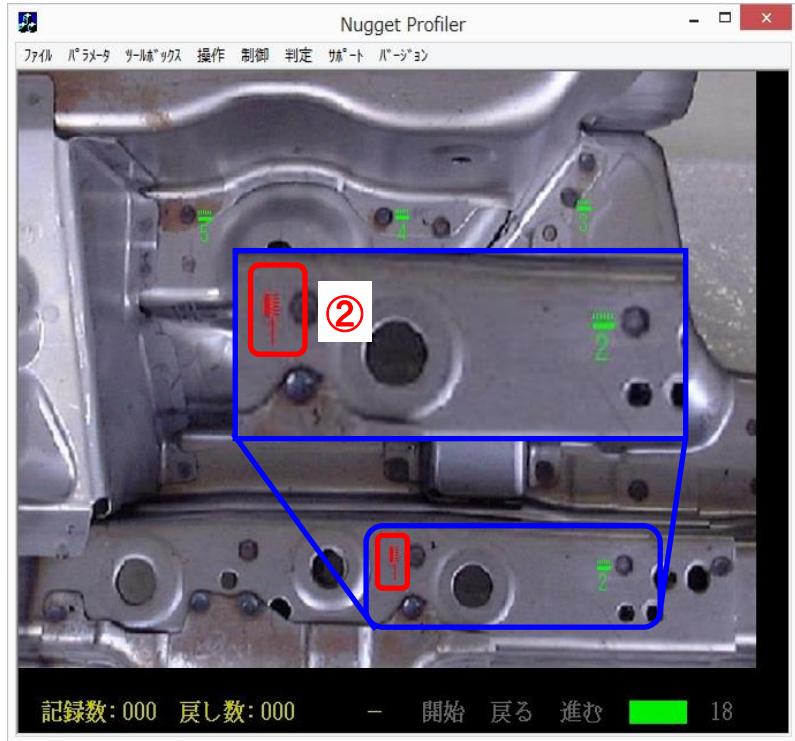
①検査対象部位名のボタンをタップします。

「ナビ記録」下段に検査対象部位名のボタンが
16個並んでいます。

ページ00 横のスライダーをタップするとページ
送りします。
(全20ページあります。)

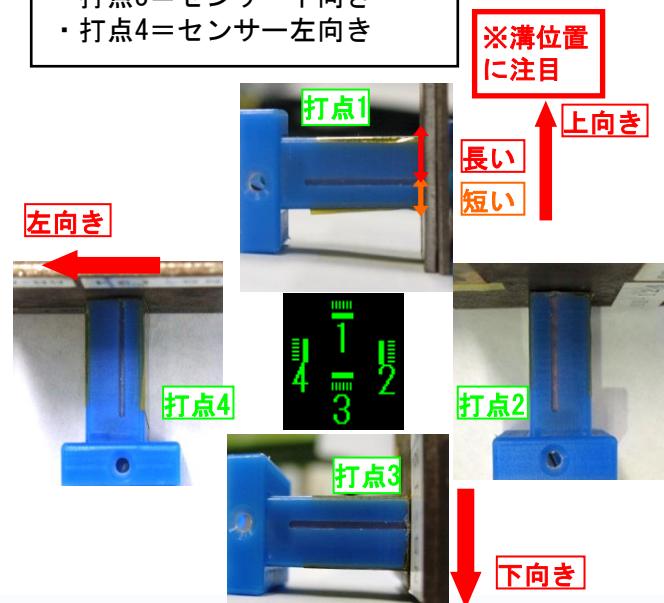
写真画面に切り替わり、画面に検査対象の写真が表示されます。

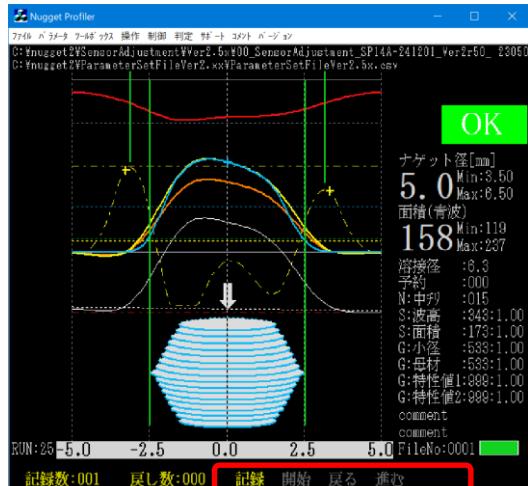
②指示に従い1番目の検査対象箇所(赤マーク)にセンサーを当てます。
 《センサーの向きに注意して下さい》



打点のマークとセンサー向きの

関係は、下図の場合、
 ・打点1=センサー上向き
 ・打点2=センサー右向き
 ・打点3=センサー下向き
 ・打点4=センサー左向き





自動的に写真画面から検査画面へと切り替わります。

③検査画面の青色波形の頂点が検査画面中央にあり、かつ青色波形の大きさが最大となる位置を探します。

④



データ記録操作表示と決定ボタン動作
「データ記録操作表示」の左端の表示によって異なります。

(a) 左端が「停止」の場合

停止 開始 戻る 進む

↓ 決定ボタン

記録 開始 戻る 進む

↓ 決定ボタン

波形記録&写真画面移行

(b) 左端が「記録」の場合

記録 - 戻る 進む

↓ 決定ボタン

波形記録&写真画面移行

④検査波形を記録します。

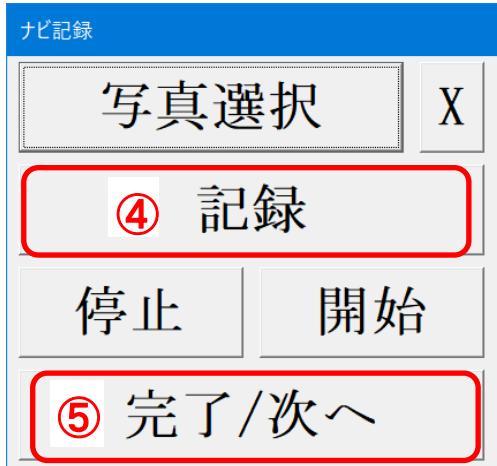
・検査波形を記録する方法は次の2つがあります。

◇「ナビ記録ダイアログ」の【記録】をタップします。

◇ケース裏のスイッチ【決定ボタン】を1回もしくは2回押します。

(管理者設定によって必要な押し回数が異なります。)

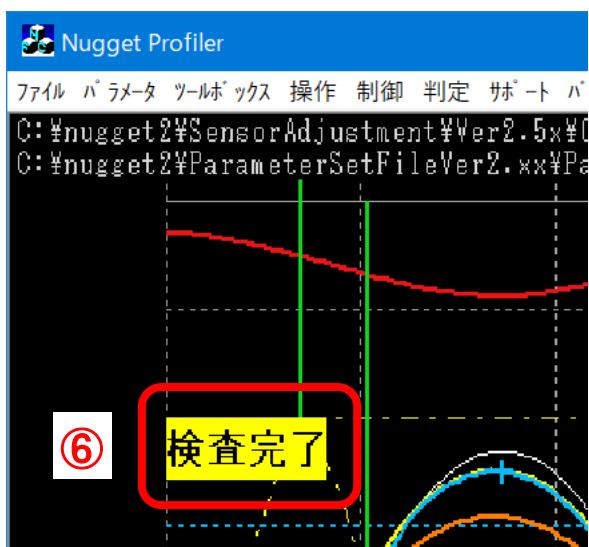
・記録後自動的に写真画面に切り替わり、2番目の検査箇所が赤マークに変わります)



⑤ 「ナビ記録」の【完了／次へ】ボタンをタップします。

- ・検査結果を自動的にファイルに保存します。
- ・写真画面に切り替わり、検査対象箇所が赤マークに変わります。

【完了／次へ】ボタンをタップせずに【写真選択】ボタンをタップした場合も、自動的に検査結果をファイルに保存します。



次製品の検査を始めます。

検査対象部位が変わる場合は「ナビ記録」の検査対象部位名のボタンをタップします。

⑥ 登録された打点の数だけ、記録を行います。

- ・全ての記録を行うと、検査画面に「検査完了」と表示されます